

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
2025 年 6 月 20 日	
山梨県知事 長崎 幸太郎 殿	
提出者	
住 所 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居1727-1	
氏 名 テルモ株式会社 甲府工場	
甲府工場長 桜田俊道	
電話番号 055-275-7111 (代表)	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	テルモ株式会社 甲府工場
事業場の所在地	山梨県中巨摩郡昭和町築地新居1727-1
計画期間	2025年4月1日から 2026年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	医療用機械器具製造業 (医薬品・医療用具の製造) 産業分類 No. 2741
② 事業の規模	売上高：688億円
③ 従業員数	1315名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙、発生・処理フローのとおり

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排 出 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	(これまでに実施した取組) 歩留り向上による、廃棄量低減。 処理委託先での中間処理後リサイクル化推進。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排 出 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	(今後実施する予定の取組) 歩留り向上による、廃棄量低減。 排出品の分別を推進し、有価売却量の増加の検討を行う。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃酸、廃アルカリ、廃油、感染性産業廃棄物、特定有害産業廃棄物に分類
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上の継続

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2024年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	(これまでに実施した取組) 対象となる特別管理産業廃棄物の収集運搬・処分業許可を持った業者と、書面による契約締結を行っている。 処理委託業者の監査を定期的に行っている。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	(今後実施する予定の取組) 環境影響への低減を図るため、資源再利用を進めて埋立処分量の削減を進める。 更に、廃棄物処分におけるリスク分散を図るため、2社契約を推進していく。		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（2024年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	68	t
	(今後実施する予定の取組等) 発生量の抑制に努める		
※事務処理欄			

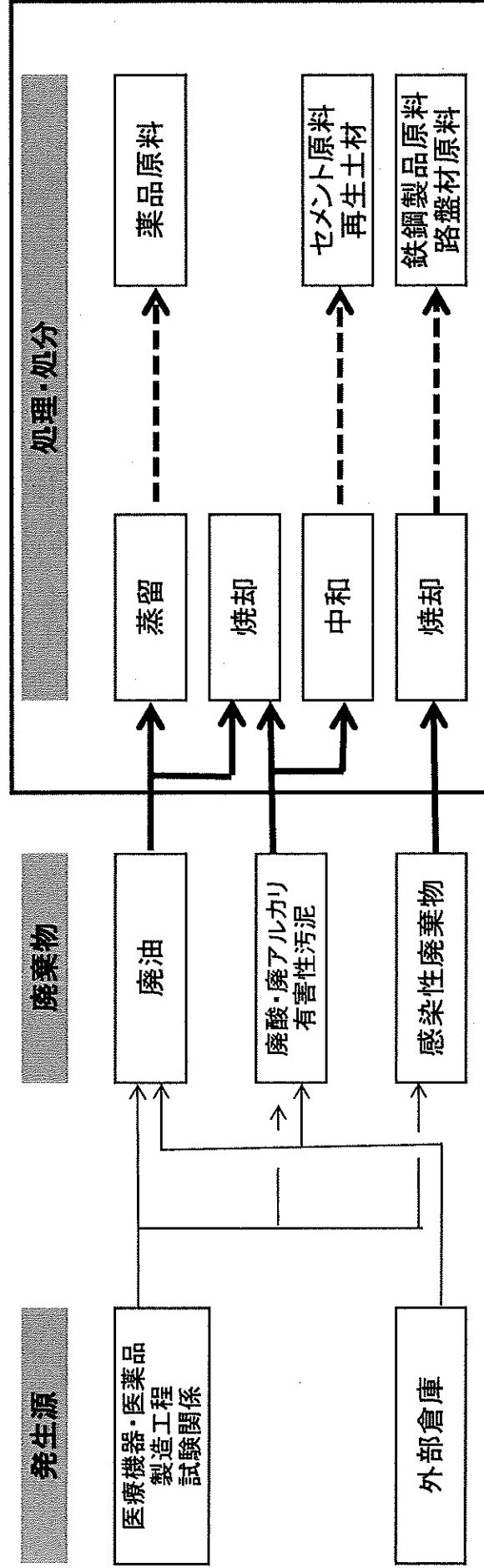
(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物処理工程

委託処理範囲
→ 廃棄物の流れ



別紙

産業廃棄物の排出量、処理委託量の実績・目標

1. 実績 (単位: トン)

2024年度										
	産業廃棄物 排出量	目標量	自ら行う産 業廃棄物の 再生利用の 量	自ら行う産 業廃棄物の 中間処理の 量	自ら行う産 業廃棄物の 埋立処分又 は海洋投棄 処分量	全処理委託 量	優良認定処 理業者への 処理委託量	再生処理業 者への処理 委託量	認定熱回 収業者への 処理委託 量	認定熱回収 業者以外へ の処理委託 量
廃酸	3.3		0.0	0.0	0.0	3.3	3.3	3.3	0.0	0.0
廃アルカリ	0.1		0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
廃油	56.8		0.0	0.0	0.0	56.8	24.8	56.8	0.0	0.0
感染性廃棄物	6.7		0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0
特定有害産業廃棄物	0.9		0.0	0.0	0.0	0.9	0.9	0.1	0.8	0.0
合計	67.9		0.0	0.0	0.0	67.9	35.8	60.4	7.5	0.0

2. 目標 (単位: トン)

2025年度目標										
	前年度の 産業廃棄物 排出量									
		目標量	自ら行う産 業廃棄物の 再生利用の 量	自ら行う産 業廃棄物の 中間処理の 量	自ら行う産 業廃棄物の 埋立処分又 は海洋投棄 処分量	全処理委託 量	優良認定処 理業者への 処理委託量	再生処理業 者への処理 委託量	認定熱回 収業者への 処理委託 量	認定熱回収 業者以外へ の処理委託 量
廃酸	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3	3.3	0.0	0.0
廃アルカリ	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
廃油	56.8	90.0	0.0	0.0	0.0	90.0	80.0	90.0	0.0	0.0
感染性廃棄物	6.7	6.5	0.0	0.0	0.0	6.5	6.5	0.0	6.5	0.0
特定有害産業廃棄物	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.9	0.9	0.1	0.8	0.0
合計	67.9	100.8	0.0	0.0	0.0	100.8	90.8	93.5	7.3	0.0